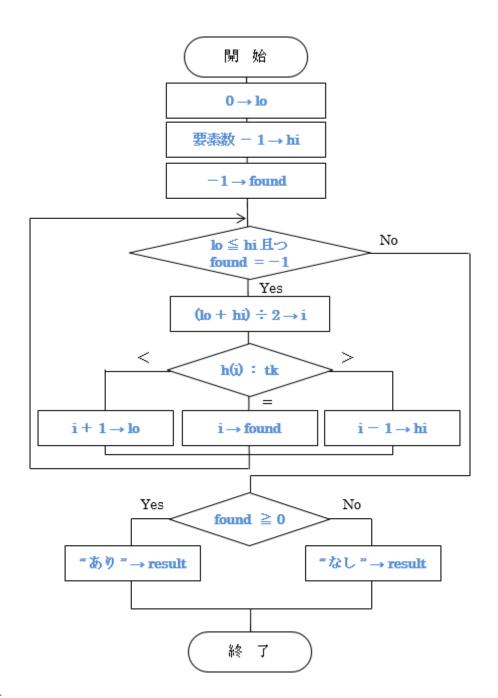
## ▼Exam06\_09\_04(二分探索)

キーボードから探索するデータを入力させ、フローチャートをもとに二分探索を行うプログラムを作成してください。

#### 配列 h

|    | [1] |    |    |    |    |    |    |    |  |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 12 | 13  | 17 | 19 | 21 | 25 | 33 | 34 | 36 |  |



## 実行例 1

探索する値を入力してください > 9 あり

# 実行例 2

探索する値を入力してください > 0 なし

#### ▼Exam06 09 05 (バブルソート)

配列 a を昇順に並び替えて出力するプログラムを、バブルソートのアルゴリズムを使って作成してください。 ※一般的に変数名に大文字は使用しないので、説明中の A や N はそれぞれ a、n として使用してください。

## [バブルソートの説明]

1次元配列  $A[0] \sim A[N-1]$  に N 個のデータが格納されている。このデータを、バブルソート法により昇順に整列する。バブルソート法とは、データを整列するためのアルゴリズムであり、次の手順 1 、手順 2 により整列する。

手順 1:配列の先頭から、隣接する要素を順次比較し、最大値を A[N-1]に求める。 図 1 に N=5 とした例を示す

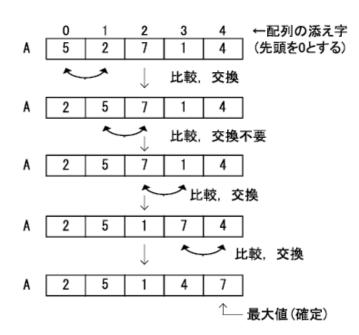


図1 N=5とした手順1の例

手順2:Nを1ずつ減らしながら、手順1をN=1となるまで繰り返す。

#### 実行結果

ソート前> 52714 ソート後> 12457

#### ▼Exam06\_09\_06(基本交換法)

配列 a を昇順に並び替えて出力するプログラムを、基本交換法のアルゴリズムを使って作成してください。 尚、フローチャートの空欄はア〜エから選択し、プログラムを書くこと。

# [プログラムの説明]

1次元配列Aに格納された数値( $A[0] \sim A[n-1]$ )を、降順に整列するプログラム selectionSort である。

なお、プログラム selectionSort では、A[0]、A[1]、 ・・・ と要素を順番に決定していく基本選択法で整列を行っている。

# 【プログラム実行前】

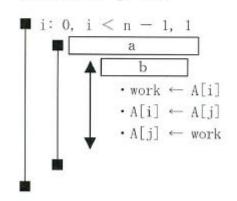
|     | [0] | [1] | [2] | [3] | [4] | [5] | [6] |     |   |  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|--|
| 配列A | 56  | 9   | 62  | 37  | 25  | 68  | 43  | n [ | 7 |  |

# 【プログラム実行後】

|     |    |    |    |    |    | [5] |   |     |   |  |
|-----|----|----|----|----|----|-----|---|-----|---|--|
| 配列A | 68 | 62 | 56 | 43 | 37 | 25  | 9 | n [ | 7 |  |

# [プログラム]

- OselectionSort(整数型: A[],整数型: n)
- ○整数型: i, j, work



/\* A[i]を決定する \*/

·work ← A[i] /\* A[i]とA[j]を交換する \*/

## aに関する解答群

$$\mathcal{F}$$
 j: 0, j < i, 1  $\mathcal{F}$  j: 0, j < n - i, 1  $\mathcal{F}$  j: i + 1, j < n, 1  $\mathcal{F}$  j: i + 1, j < n - 1, 1

# bに関する解答群

$$\mathcal{T} A[i] > A[j]$$
  $\mathcal{T} A[i] < A[j]$   $\mathcal{T} A[j] < A[j+1]$   $\mathcal{T} A[j] < A[j+1]$ 

## 実行結果

ソート前> 52714 ソート後> 12457

#### ▼Exam06\_09\_07

配列 a に格納されている数値を 3 ケタの整数値として返却するプログラムを作成してください。

尚、フローチャートの空欄はア〜エから選択し、プログラムを書くこと。

## [プログラムの説明]

文字型の1次元配列A (A[0] $\sim$ A[2]) に格納されている3つの数字 ('0' $\sim$ '9'の文字) を、3けたの数値に変換して返却するプログラム numChange である。

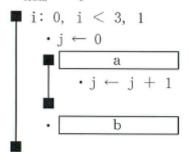
なお、配列Aには数字以外は格納されていない。また、数字('0'~'9')を数値 (0~9) に変換するため、各要素に数字を格納した配列Cを利用する。

|     | [0]  | [1]  | [2]  | [3]  | [4]  | [5]  | [6]  | [7]  | [8]  | [9]  |  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| 配列C | ' 0' | ' 1' | ' 2' | ' 3' | ' 4' | ' 5' | ' 6' | ' 7' | ' 8' | ' 9' |  |

# [プログラム]

- ○整数型: numChange(文字型: A[])
- ○文字型: C[] = {'0', '1', '2', '3', '4', '5', '6', '7', '8', '9'}
- ○整数型: i, j, num





/\* 1文字を数値に変換する \*/

numを返却する

/\* 変換した数値を返却する \*/

# aに関する解答群

$$P A[i] > C[j]$$
  $A[i] < C[j]$   $A[j] > C[i]$   $A[j] < C[i]$ 

# bに関する解答群

#### 実行結果

ソート前> 52714 ソート後> 12457